

急増するインターネットによる人権侵害



インターネット上では、お互いの姿が見えないことや匿名性といったインターネットの特性から・・・

- 特定の個人や団体等を誹謗・中傷する
掲示板への差別的な書き込み
- 差別を助長する表現・情報等の掲載
- 個人情報や画像の流出
- 他人になりすましての書き込み
- 携帯サイトを悪用したいじめ

などの人権に関わる悪質な問題が発生しており、人権感覚や人権意識の希薄化がもたらす人権侵害が深刻化しています。



私たちが気をつけたいこと・・・

日常生活と同様に守るべきルールがあります

楽しく安全にインターネットを利用するには、日常生活と同様にルールやマナーを守り、メディアリテラシーを身につけることが大切です。

メディアリテラシーとは、情報をそのまま受け取るのではなく、その真偽を見抜き活用する能力のことです。ネットの先には、必ず「感情を持った人」がいることを常に忘れないことが大切です。

「顔が見えないから、名前が出ないから・・・」
だからこそ、自分の行動に責任を持つことが大切です。現実社会で許されないことは、ネット社会においても許されません。



人と人のつながりを大切に！

インターネット上の人権侵害は、私たちの社会に暗い影を投げかけています。こうした問題をなくしていくためには、お互いに信頼してつながり合える関係を築いていくことが大切です。人と人が面と向かって話し合い、お互いを理解し、共に生きていく関係を築いていきましょう。

マナーを守って安全に！周りの人のことも考えて！

携帯電話やスマートフォンを、歩きながら利用していて、他人に迷惑をかけたり、思わぬ事故を引き起こすことが問題になっています。場所に応じた利用マナーを守り、周りの人のことを考えて、誰もが快適でいられるよう行動することが、人権を守ることに繋がっていきます。



インターネットと上手につきあうには？



チェック1 出し合しましょう

●あなたは、インターネット上で起こっている問題についてどのようなことを知っていますか？

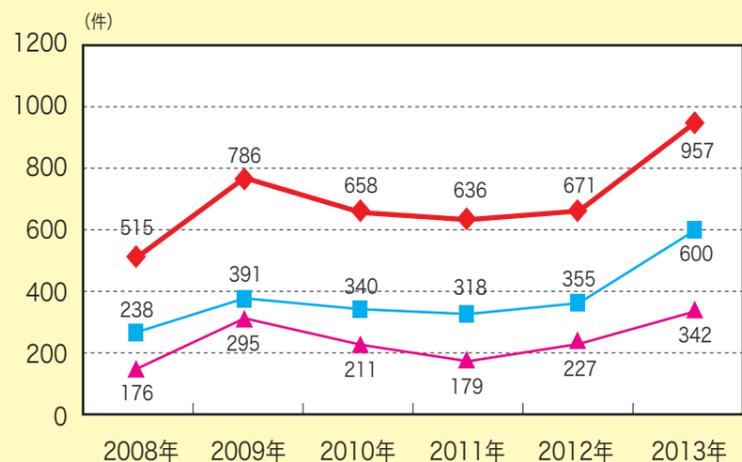
チェック2 考えてみましょう

●インターネットを利用する時、気をつけていることはありますか？また、子どもが使う場合に約束事などを決めていますか？

チェック3 できることを話し合しましょう

●インターネットを安心して使うために、気をつけなければならないことは何か考えてみましょう。

インターネットを利用した人権侵犯事件の推移



(出典)法務省「人権侵犯事件」の状況について

- ◆ インターネットによる人権侵犯
- うちプライバシー侵害
- ▲ うち名誉毀損

2013年におけるインターネットを利用した人権侵犯事件数は、前年の671件を大きく上回る957件で大幅に増加しています。

これらは、法務省の人権擁護機関が人権侵害を受けた被害者からの申告等を受けて取り扱った人権侵犯事件数であり、氷山の一角です。



忘れないで！画面の向こうに人がいること

インターネットによる人権侵害の特徴とは？

書き込んだことにより、一度インターネットに掲載された情報は、簡単に複製や合成できてしまいます。また、内容が次々とコピーや転送されてしまい、またたく間に世界中に広がってしまいます。

また、匿名での書き込みが可能のため、内容が悪質なものになりやすく、被害者の精神的な不安や苦痛も大きくなるのが特徴です。

お互いの人権を守る 掲示板などの利用上のルール

- ◇差別的な内容や誹謗、中傷は書き込まない
- ◇うわさやうその情報は書き込まない
- ◇他人の個人情報は書き込まない